

陶器考

乾

842  
43





陶器考  
乾

842  
43



信山文庫 自述

曹山文庫

予陶器ヲ識監スルヲ樂ム一品ヲ得レハ傍ニ才井テ開アレハ  
是ヲ見其品ヲ極テ止ム能サレハ目キ、セシム心ニ應セサレハ

傍ニ置真ヲ極テ藏スヘキト捨ヘキヲ分ツ刮テ土味ヲ見  
或燒直シテ液汁ヲ見ル此ノ如キ夏五年世上ニ云傳ル處

和漢蕃物混乱シ上品有テ下品隠レ上品廢レテ下品貴ト  
スル類少カラス頃日印文アル呂宋ノ茶入ヲ得是ニ元ツキテ

頃ノ及古ノ中ニ來船ノ品書ルヲ見イヨノ、思ニ違ハスヨ  
リテ唐土朝鮮諸蕃國ノ品々監定スル處ヲ記シ土味液汁

及陶スル土地ノ規則ヲノへ見出セルモノヲ書シテ此ヲ同志  
ニ告ケ監定ヲ委シク隱タルヲ顯シ廢タルヲ奉ケ和漢蠻

ニ告ケ監定ヲ委シク隱タルヲ顯シ廢タルヲ奉ケ和漢蠻



根岸信輔氏寄贈



並セ用ヒナハ茶事ノ趣向モ面白カラシ故ニ讀易キ  
ヤウ後名書ニシテ其端ヲヒラクノミ世上ノ目巧者は  
ナ正シ後代ノ龜鑑トナルノ書ヲ着セル人ヲ俟ト云尔

嘉永七年中秋 洛下逸人 梅軒友古識

陶器考

平安 梅軒 田内啟述



海内國々陶器ノ風ヲ熟察スルニ陶器多キ國ハ漆器少シ  
朝鮮呂宋舟山紅毛安南交趾ハ漆器ナクシテ燒物多  
渡り琉球シヤム東京ハ漆器アツテ陶器ナシ 我朝モ  
東山東海北陸ノ國々ハ漆器多シテ陶器少シ畿内山陰山陽ハ  
西海南海ハ陶器多シテ漆器少シ有所ヲ持來テ無所  
ヲ求ルハ天下ノ通義ナリ

一 呂宋小國トイヘトモ大小呂宋ヲ合スレハ日本半國ニハ  
余ルヘシ漆器ヲ渡ササル國ナレハ陶スル箇所 我邦ヨリ  
ハ多カルヘシ只壺茶入水指ニ限ノ理アラシヤ南蠻島物ハ  
大概呂宋トアマカワ也 我邦モ古ハ此國々ノ燒物ヲ用ヒ



又其燒物ノ風ヲ備前、信樂、常十、瀬戸、丹波、秋、唐津十  
トヘ写サセシナリ、余ホト廣キ國ナレハ、陶スル場所、モ  
一ヶ所ヤ二ヶ所ニテハ有ヘカラス、サレハ土藥出來振モ、皆  
變ルヘシ、約束ナクハシクセサレハ、見分カタシ、世人呂宋、安南  
交趾ナト云ハ、本邦ノ秋、唐津、瀬戸ナトノ様ニト所ト  
思フ故ナリ、昔本邦ト外國ト交易ハ、呂宋國カ重ナリ、  
堺ノ津ヘ呂宋船入津ノ節、堺ノ人ト交易スル所ノ因チ、画  
ケル屏風、斤シハ、京高臺寺、斤シハ、南都招提寺ニアリ、元一、双  
ノ内、両方ヘ分レシナリ、陶器モ多分渡リアルト疑ヒナシ、  
一安南物、只茶碗、水指、鉢、皿ヲ以テ限トス、安南茶碗トテ、貴フ  
モノハ、日用ノ小鉢ナリ、此一ツニ限ルノ理ナシ、上手物ハ、今高  
麗古サツマ等ニ混シ來レハ也、

一右國々ノ外ニ南蛮ト云國ハナシ、右國々ノ惣名也、南ハン  
ト云、嶋物トイフモノ、熟監シテ土味ヲ察スレハ、大旨呂宋  
アツカハ也、蜜モ數ヶ所トミユレハ、土茶モ變ルナリ、  
一或曰、昔唐ヘ樂燒茶碗ヲウツシニ遣サレシニ、黒ク堅キ  
モノヲ燒來レル由チ、語ル者有、宋ノ形ニテ、南蛮土ノナマコ  
菜チカケタル茶碗ヲ求タリ、是右ノ咄ニ應ス、然トモ何人  
カ何國ニテ写サセシト云フハ、聞サリシ、  
一朝鮮ハ、茶入、下作ナレハ、諸燒物、厚作ナリ、薄手、上品ノ物ハ、  
外國ノモノ、高ライヘ混シタルナリ、珠光カ、東山殿ヘノ言上ニ、唐  
物ノ茶入、高麗ノ茶碗ト云シニ、モトツキテ、都テ茶碗ハ、高ライ  
ト唱ユルナリ、然ルニ、東山殿ノ御秘藏ノ茶碗、松本引拙ノ茶碗、  
珠光ノ茶碗、皆青磁ニテ、高麗ニアラス、珠光、青磁アフコ、珠



光水指ヲ見ルニ皆呂宋製ナリ青井戸モ印度ノ青磁ナレ  
トモ高ライト混シタリ右三ツノ茶碗ノ一ハ名物飭書和漢  
茶誌等ニ委シ

一磁ハ燒物ノ惣名也藥ノ色ヲ以テ是ヲ分ツ今ノ青磁ハ綠磁  
ナリ瑠璃南京ハ青磁也人形手ハ赤磁ナリ天目ハ黑磁也  
白磁ハ白磁也黃南京ハ黃<sup>カウ</sup>磁也ミナ漢土ノ製古ハ磁石ヲク  
キテ作りシナリ天目ト南蛮ノ黑紫土ノモノ是ヲ用ユ故ニ鉄  
ノ氣アツテ銀色ヲ顯ハス俗ニ鈇土ト云

一印度ハ童子燒ノ目五ツ朝セシハ五ツヨリ九ツマテアリ呂宋ハ見  
込三ツナレハ底四ツ又四ツナレハ底五ツ又五ツナレハ底六ツ也  
一ツヤキハ四ツナリ素燒ハ直ニ重又安南ハ直ニ重子ト故凶形  
ヲ殘ス麁ナルモノハ内外ニトシ舟アツテ引ハナシタル跡アリ

色カハリノモノモアリ

一陶器ヲ鑑定スルニハ土ヲ一トス見カタキハ刮テミルニツニ  
作振ヲ以テ其國ノ凡ヲ定ム三ツニ音ヲ聞茶ヲ見テ是ヲ定  
ム分リカタキハ燒直シテ此ヲ見ル此ノ如クシテ一ヲ極ムレハ  
余ハ直ニシル

一本邦上古ハ素燒ナリ茶カ、リハ外國ノモノヲ用ユ鎌倉時代瀬  
戸ノ加藤四郎右衛門春慶クスリカ、リヲユ夫セリ去レ比仰テ燒  
コトヲ知ラス是ロハケノ手ナリ梁西師ニ隨テ入宋シテ後アサム  
ケテ燒寬永迄ハ異國へ渡海スレハ國々ノ陶器ヲ持歸リ又外國  
ヨリモ船來リテ自由セリ

一陶器茶入ヲ以テ諸燒物ノ荒マシヲ知ヘシ茶入アル所上品  
ヨリ雜器迄非サルナシ唐土呂宋アマカハ南蛮モノ本邦ノ



高取、アカ野、肥後、丹波、膳所、朝日、赤ハタ、上作ナレハ諸器器用  
ナリ、瀬戸、備前、唐津、信樂、伊賀等ハ茶入厚作ナレハ諸  
器モ厚作ナリ、茶入ノナキ所ハ押テ知ヘシ

一 陶器、土地ノ人氣寒暖ニテ剛柔アリ、日本、唐、朝鮮ハ人氣  
温和ナレハ、焼物モ和ラカニ出來モスナリ也、南蛮ノ夷国ハ  
人氣剛ニテ、熱国ナレハ、焼物剛ニシテハシカク刮スルニ崩ケ  
スシテヘケル也、出來ユカミスルトク藥汁ナ、ミ所々小キ刀  
ナ明キクワシニウナク、土ノ中ヨリシフ吹出シ、音金チキカ如  
シ、是ハ國中磁石多ク、鉄氣アルユヘ鉄氣ノ吹出ルカシフノ  
如ク見ユル也、紫黒土ノモノハ、磁石チ碎キテ焼タル故ニ、破ト  
キハ銀色アルナリ、日本モ若只雲州、長沢、石只、辺ハ鉄氣アル故  
土紫色ナリ、佐呂ノ焼物至テカクシ、金氣ユエナリ

一 朝鮮物多ク地名作人ノ名ヲ呼フ、一列ニ高ライトスレトモ  
是ヲ見タルニ、ミナ唐、呂宋、南蛮、安南、印度等ノ物アリ、凡朝  
鮮ニアル所ノモノ又外国ニモ有サルナリ、地名チ分ケテ唱ヘキナリ

一 日本山陰道ノ国々ハ、大旨朝鮮ニ似ル、九只路、備前、信樂、常  
滑等ハ、蛮物ニ似タリ

一 今利ハ唐土ノ風ナリ、元祖五郎七五郎八八山田五郎大夫  
則之、末ナリ、五郎大夫、吳ノ祥瑞ヨリ歸リテ、今利ニテ  
果タリト云、則之、遠呂ノ命ヲ請テ、大明ニ入時、友ヘ送りシ  
詩アリ、古今利ト称スルモノニアマカワ物多シ

一 織部焼、呂宋ト同シ、織部焼ハ呂宋沓チ形ニシテ、織部ノ  
好也、コノ以前ノ物ハ呂宋ノ製ナリ、呂宋ハ土堅ク茶ツヤアリ  
織部ハ土茶トモ和カクツヤウスシ



織部形ノ物アル所々 呂宋、安南、朝鮮、丹波、

唐津、瀬戸、伊賀、シト口、信樂、中津、

一 志野又同シ志野ハ元來呂宋ノ白菜ノ画沓鉢也志野宗信物數奇ニテ用ヒシヲ今井宗文傳ヘシ由名物記ニ出テ唐モノト書スコレヲ尾只ニテ写サセシナリ

一 古志野ト織部沓ハ呂宋ノ沓鉢ナリシノハ土和ク菜ツヤウスシ呂宋ハ菜ツヤヨク土白クカタシ音カシタリ

一 伊賀信樂秋備前高取唐津瀬戸今利薩摩ヲ始イツレノ物モ古物今渡トモ南蛮國々ノ物交ラサルナリ

一 諸燒物古ト称スルハ五百年以上三四百年ハ只品ヲ云テヨシ遠只以來後渡リナリ百年以來チ新渡ト云テヨシ

一 朝鮮ハ五百年前三韓チ一統シテ朝鮮ト改号セリ故ニ五百

年以上ノ物ハ高麗物ナリ其後ノ物ハ朝鮮ヤキナリ

一 本邦ノ古キ室ハ瀬戸備前丹波信樂ノ外ハ皆慶長元和ノ頃諸大名方國土チ安シテ後御世話アリテ國産トナリ

タル也此以前ノ物ハ手本ニシタル外國ノ品カ其所ノ産ト間違タル也元祿前後ヨリ追々上手出來テ盛ニナリタリ今裡

上手ノコトハ古代非サルナリ利体力樂チ燒セルニ日本ニ人無キヲ以テ朝鮮ヨリ來レル館ヤニ申舟子ノ朝次郎チ唐ヘツ

カハシテ天目ノ燒フリチ習セシニテ万事推察スヘシ古秋唐津織部志野ナトモ織部頃迄ノ品ハ海外ノ品也

一 中田川善兵衛光存ノトモ箱ニ入タル遠州切形ヘコミ水指ノ

内ニ火ノ印アリ土菜トモ呂宋ナリ伊賀ノヤウニテ違ヘリ箱モ水指トハカリ書リ






一 立靴形ニ長キ耳ノツキタル水差ニ七宝ツナキチ三所ヲシタル水指アリ同茶土也作ノ約束呂宋ナリ是ラモ海外へ渡リテ焼タル品トミス何レモ賤代アリトイヘ氏焼才ロシノ如シ世上ニ伊賀コシ土ト称スル手ナリ

南蕃物

一 世上ニ南蛮嶋アマカハ呂宋モウル東印度交趾安南子コロウ臺灣等ノ陶器見分ル其所ヲトナシ見分カタキハ嶋物南蛮モノト云リ去氏右国々ハ惣名南蛮ト云上作ノ茶入アル国ハ余ノ器物ナキノ理ナシ



ノ如キ水指ヲ目利セシムルニ遠州御切形高取ト云黒紫コケ出来ニテ銀色ノ光出黒キ符アリコレヲ焼シムルニ金氣茶ニ変シ黄赤マシリノ土ニテ飴糰ト同シ物ナリニ成ル又八代唐津ハケ目ノ内黒紫ニテ音金ヲ打カ如

キチ打割顯微鏡ニテ土藥ノ味ヲ見ルニ南蛮ナリ古ハケ目ノ内高臺黒紫土ニ流出銀色ノ光アルハ南蛮ハケ目也備前尹部唐津丹波ノ内目利ニ判ニテスタレタルヲ打カキテ見ニ南蛮モノナリ

一 三嶋ハアマカハ呂宋臺灣ノ三嶋<sup>モ</sup>ナリ故ニ三嶋手ト云大ム子新古トモニ紫黒土青菜ノモノハ呂宋白土白鼠菜ノ物ハアマカハトス臺灣ハ未タ證ヲ得サレ氏世上ニ秋三嶋ト云光ウスク地紋ニ丸ナツナキタル紋アルモノ又ハ水指ノ底ニ黒キコケアルモノナランカ尚後考ニ云シ御本三嶋ノ内ニ朝鮮ト三嶋物トアリ雲鶴三嶋ト称スル光リ在モンノキレイナルモノアマカハナリ

三嶋ハ惣名ナリ檜垣三嶋礼賓三嶋花三嶋刷毛目三嶋



無地三島花三島ト云ヘシ

一 伊羅保ノ内古伊羅保ハケ有モノクギホリ玄悦イウホナ刮  
テ土味ヲミルニ南蛮土ナリ作りフリモユカミテカタク朝鮮  
ノ如ク柔和ニアラス玄悦モ以前ハクギホリト云シナリ釘  
彫ト書スルハ近來ノ丁ニテクギホリハ地名也此手ノモノイラ  
ホ計ニ非ヌ御本ノ如キモアリ茶碗ユヘ高ライト混スレトモ  
茶入ヲ以テ引合ヌニ少シモカハラス南蛮物也玄悦イウホモ  
玄悦作ト云ハスナシ黄瀬戸ノ伯菴ト同シク手本ト写ト  
カ入マシリシナラン御本トイヘハ朝鮮ハカリノヤウニ思フハ  
大ニ違ヘリ豊臣公塚ノ船ヲ呂宋ニツカハシ真壺ヲ焼セタマフ  
コノ時壺ハカリ持歸ルニアラス又古織遠只モ呂宋ナト手  
本ヲツカハサレシトミユ南蛮物ニ樂ヲ写シタルアリ花橋ト祢

ル筆洗アリ信樂ト祢スル遠只切形ノ平茶碗モアリ遠只公  
井戸又ハ御好ノ国焼ノ外ハ銘ハカリ書シ所ヲ書レサリシハ  
意味深長ノ訣アルナリ今流行スル三島ノ井モ紫土  
ニテ茶チ、ミ摸ヤウモ朝鮮トハ奇麗也烈火ニテ焼ユヘユカミ  
テ音カタシユレラハ皆クギホリ手ナリ

一 古井戸青井戸井戸眼ノ青クカタキモノハ東印度ノ作ナリ  
和漢茶誌曰印度ヨリ來ル然レトモ高麗ニ産スルモノモ通シテ  
印度ト云ヘ説ニ井戸某ノ所持ノキユヘ井戸ト祢スト云ハ非ニ  
古井戸青井戸ハ外ノ井ト見競フレハ土茶トモ大ニ違ヘリ  
茶誌ノ説ヨシ右ノ品ハ天竺井戸外ノ井戸ハ高麗也又舟山  
井戸ト云物アリワハ井戸モ天竺井戸ノ類ナルヘシ茶チ、  
ミテ下品ナリ青井戸ハ天竺ノ青磁也金地院ニアリ藤堂



高虎彦ヨリ遺物ノ井戸モ青磁ノ如シ

一南蛮ト、ヤハ、藥青黒ク、クワニニウナク、土黒紫ニテ音カタシ、中ノ目三ツ四ツ又ナキモアリ、古キヲ柳ノヘタト号スカキノヘタノ手ニ香合水指等モ有ナリ

一南蛮青磁ハ黒紫土ニドミタル青茶ニ処々白キ溜リ茶出音カタク、俗ニ魚地雲鶴ト云、又秋出来ナト、云青ク出来タルハ唐津雲鶴ト云リ、古人無地雲鶴ト書スル物是ナリ

一古雲鶴雲鶴ト称スル物南蛮出来ナリ、画様キレイニテ五徳アリトモ南蛮五徳ナリ

右ハ先朝鮮ト南蛮トナリ引合タル所ヲ書スナリ内訳ハ奥ニ書ス南蛮物ト云ハ小口ニ書出ス国々ナリ

一南蛮物ニ窰印有モノ有世人南蛮トセス然ルニ土茶南蛮ナリ

尹部薄作ノモノニ丁、備前ノカヤ壺ニハ同茶入ニテ三、水指ニ六藏ソノ外諸焼物ニ呂宋ノ国字ヲ書シ或ハセノ字アル、茶ノ茶入ナト南蛮土也、日本人渡リテ作シモ有ヘシ、蛮人ノ作モ有ヘシ、ハカイニ窰印ナシト云レス、安南火入ニ寫剛ノハ分字印ヲ押アリ、作人ノ姓名也

一朝鮮唐津ト云前黄茶紫土ト、淡茶紫土ノ茶入トモ世々窰印有ナリテ唐津製トス予ハ窰印アルヲ以テ外国ノ物トス右ノ茶入ハ織部御本ナリ唐津ノ窰ハ持奇カマニ非ス窰印ヲ付ニ及ハサル也、土茶トモ蛮物也、日本人外国ヘ渡リテ作り焼上リシ上ニテ渡シモ有ヘシ、土茶ヲ取ヨセテ焼タルモアラシ唐津ノ土茶ニアラス

液汁



一 唐土朝鮮南蛮トモ液汁ニ用ユル灰至テカタキ竹木ノ灰ヲ用  
ユレハ菜スケ通ルナリ 本邦ハ竹木温潤ナル土地故灰ノ気味  
外國ホトニハ非ス故ニ菜ツヤウスク菜ノ中ニワブクシタル物出來  
ルナリカケテ菜モ鉄汁ヲ製シテ交レトモ外國鉄氣ホトニアラス都テ  
藥和ナル故古ヒルテ外國ノ五百年ト和物二百年ト同シ  
一 南蛮物舟山安南ノ菜ハ都テ二重菜也和ニテ写モノハ一重菜ナリ

土性

一 唐土紫泥ハ性ナリ一度製シテ朱土トナル極製シテ白土トナル音カタシ  
一 朝鮮ハ鉄氣ナキ土ユヘ赤土ナリ火ニカ、リテ赤ク増シ刮ス  
レハ赤シ製シテ黄土トナル又製シテ白トナル何レモ音カタシ  
一 南蛮國々磁石ヲ用ユルモノハ火ニカ、リテ鉄氣ウキ洪ノ如シ  
刮レハ黒ク銀色アリ音金ヲ打コトシ紫黒土モ磁ニ同シ一度

製シテ朱土トナル火ニカ、リタル所少シ黒クヲ帶ワレハ朱土ニ  
掘出シ唐津ニ交ル物はナリ尤鉄氣ヲ吹出ス常ノ土ハ氣色  
ニ小破マナリノ物一製シテ白ク成ル火ニカ、ル所ハ黄土ト  
ミユ或ハ赤ク焼タルモ有極製ハ白シ

轆轤

一 外國ノ口クハ足ニテマハス故左リニワリナリ 本邦ハ手ニテ廻ス  
ナレハ右廻リ也是ヲ以テ目利ノ方一トス写モノハ口クロニムリアリ

呂宋

一 呂宋ノ陶器ハナハタ多シ世人只壺ト茶入トヲ呂宋トシ外品  
萩唐津瀬戸備前丹波高取肥後織部志野等ニ見紛フユヘ  
呂宋ノ物ハ右ニ品ノ外ナシト思ヘリ見山セル品ト今唐船  
ニ持來ル品々トヲ見クテ是ヲ述ルテ尤ノ如シ



一 丹波呂宋トヨク似タリ呂宋ハ土堅ク茶ツヤアリソユニ萌黄  
茶ヲ吹出ス和製ハ和ニシテ底ニ萌黄茶ヲヌル呂宋ノ丹波ニ間違  
タル多シ出來ワリヨク似タレハ委シク見分ヘシ

一 松本秋ハ土和カク茶スケ通ラス音和カナリ呂宋ハ土白シテ  
茶ニツヤアリ蛇カツ又ハシブ出ツヤツヨク音キンタリ丹  
波出來ニ松本ニ似タルモノアリ黄土也

一 高取ハ土赤ク茶ニクワンニウアリ呂宋ハ土白黄色ニテクワン  
ニウナク見込ニウズアリ

一 瀬戸ノ内ニ呂宋アリ又金気茶ニ黒ノナカレタル水指茶ワシ  
茶入等アリ何窑ト唱ユル中ニ入マテレリ

一 織部ト呂宋ト相似タリ呂宋ハ堅クツヤツヨシ織部ハ和ニシテツヤウツシ  
一 志野又同呂宋ハ茶スケテツヤアリ茶ワシノ底ニユミニ巴ト

一 ト目三ツアリ志野ハナシ

一 呂宋茶入トイヘルハ極呂ナリ丹波ニ紛レタルハ上中交ル瀬  
戸ニ見ユルハ厚作下品也嶋物ノ内ニ中ノ処交レリ島モノ  
水滴油滴モ土黄ニシフ吹出スハ呂宋ナリ

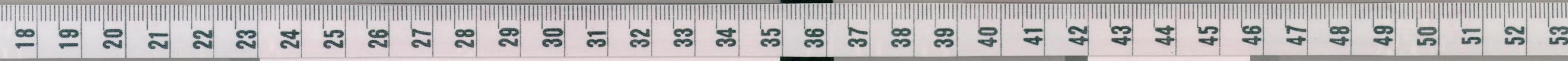


一 ノ如丹波ニ似タル茶入ヲ得肩ニ梅花四輪ヲ押印ニツアリ  
文字ニヘサル故スリテミルニ 白 宋製 也上ノ印ハ呂ノ字ノ

国字ナルヘシ黄土ニシフ出シ茶茶ナリ

一 珠光青磁エフコハ呂宋ノ青磁ナリ

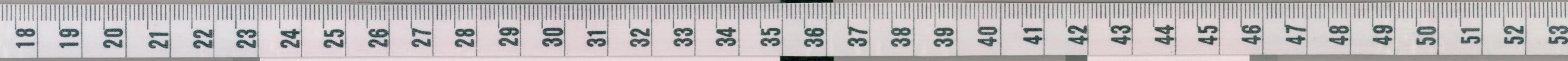
一 宋胡録ニ呂宋瓊<sup>コ</sup>純ト昏ヘシ呂宋漆付ノウツハ也三谷良朴  
福品ノ花入箱ニ唐物かうくト昏スカウロクハヤキモノ  
ウツハ也地名ト名トナ一緒ニシテ云ツタフル也焼又カヌヘ和  
カシ後渡リニ黒絵ニ浅黄茶ヲカケタルアリ音カタシ





一 呂宋ハ土茶トモカタク密ナル故年々テトモヨコレヲ洗ヘハ焼  
 才ロシノ如ク眩代若キカト疑フホト也熱国ニテ火ツヨキユヘナリ  
 一 真壺茶入トモ多分底上ヘソル茶經ニ曰底服ニ入モノハ能ク茶  
 ナ艱フト呂宋コレヲ以テ茶ニヨキナリ  
 一 上製ハ白土中ハ黄土ト白土砂交リ下ハ紫黒土也  
 一 呂宋ノ約束ハ何ニヨラス◎ノロクロ目アリ香合ニハ必身フタ  
 トモ内ニアリ鉢香炉茶碗ハ高タイ内水指ハ見込ニアリ  
 一 伊賀信樂コシ土ト云物ニ呂宋物多シヨクノノ穿鑿スヘシ光  
 強クヨコレ舟又チ呂宋トス作振ニ必右ノ方ニ堅ヘラニツアル約束也  
 一 見出ス品々  
 一 茶入 梅紋 印付 薄前黄茶 黒金氣交 金氣茶 黒茶  
 茶茶耳舟 前黄茶 黄茶 飯銅形 四ツ乳

一 手底 ウス系切 緋タスキ 飴茶 文琳  
 一 手カメ 油テキ 耳舟 内海 大海  
 茄子 割フタ 備前形色々 伊賀形其外色々  
 三嶋手  
 一 無地平 同呉器形 鮎ノ画平 刷毛目色々  
 古ミシマ 井 ミシマ色々 ハケ目瓢形火入  
 白磁ノ分  
 一 斤口 手鉢 船鉢 茶碗色々 建水 瓢形火入  
 平鉢 耳舟火入 カヤ壺 耳舟猪口臺  
 一 カウロク水指 同井 同六角香合 同一文宇同  
 一 織部形 香合三 水次 花生 茶碗 鉢  
 一 志野形 茶ワシ 香合 水指 猪口 皿





鉢 斤口 其外

一 黒茶 耳付花生 水指色々 耳付建水

一 伊賀形 耳付水指 同光存作 伊賀信樂ニ似モノ色々

一 瀬戸 丹波 高取 八代 唐津等ニ似ルモノ品々

素焼物

一 緋タスキ徳利 同火入 瓢形水指 カヤ壺大小

一 瓢形斤口 方六 建水 横十口耳付花生

ナマコ茶沓茶碗 同魚形鉢 法茶芋頭水指

一 シフ茶へコミ水指 青菜斤口 黒茶同 金気茶同

一 斗々屋ニ 素焼同へ夕手 花楸筆洗 雲鶴同

一 珠光青磁色々 エフコ 蕃匠呉器 呉器形割高臺

一 建水 高取形 眞ツホ茶 素ヤキ セト形 丹波形 無地雲鶴平茶ワシ

一 古イラボ ハケ有 一玄悦同 クキホリ 御本同 同 ハケ目井

一 六藏彫名水指 金気茶茶ワシ 御本呉器

一 平茶碗 御所丸堅手 堅手水指鉢四茶碗 其外色々

此余芋頭朱スリカメフ夕子子又キ等ハ世上ニ知ル所ニ  
アシハコレヲ省ク

黄瀬戸物ノ内

一 人形手 黄瀬戸ノヤウニ 堀ノ手 同法画鉢四猪口類

一 フユカン水指 細 同猪口 同平茶碗 同香合 踏花生 外

尹部ノ内

一 法茶ニ黄茶流レ名茶碗 同水指 薄作 黒茶黄十タレ同

一 ハン子ヲ水指建水火入方六同抱桶水指 同法茶カハ水指

同沙金袋水指 内白茶外ニハラニテ彫モノアリ 同蛸壺花生



- 一 鬼熊川形 黄土澄茶高取形茶碗 朱土耳付胴メ水指
- 一 紫土澄茶黄十夕レ播盆水指 同黄三茶手鉢
- 一 備前ニ似タル筒茶碗 斤口方六水指類品々
- 一 フユカニ瓢タレ水指 紹鷄在剗大黒菴箱入 世ニ信ホトイフ品也
- 一 伊賀形耳付建水 室印 十 フユカニ茶入

安南

- 一 上品ハ紫泥極製也中ハ黄土赤土也白茶ノ黄ヲ帶光タルニ黒ト薄赤キ繪ノ具ニテ人物花鳥草木ヲ画クヲ画高麗ト云ハ此画ヤウ人物唐土ノ南方天竺近ノ風ニテ画モ美也高麗ニアラス安南出來也
- 一 下製ハ白茶ニ藍ノ画有 高麗内澄茶ヲ又ル是世上ニ云傳フル安南ニテ下品ノ雜鉢ナリシフノナキモアリ

- 一 黄土ニ白茶ヲカケ澄ニテ鉄セシテ画クヲ画高麗ト云來ルモ又安南ノ下手鉢ナリ
- 一 朱土ニ白ノ黄ヲ帶光タル茶ヲカケハ夕ワリナル茶碗ヲ玉子手ト云又同土ニ白茶ヲカケタルヲ彩吹手ト云是ラ安南ノ茶碗ナリ酢次ト云ルハ厚作ノ斤口也
- 一 小石交ノ土ニ黄白ノ茶樹クワニウナキ白茶碗有無地安南ニ
- 一 世人彩吹手ト称スル物徳利酢次ノ斤口ヲ手本トセリ右ニ品ハ酒ト酢ニテシユミ十分出作モ原ク茶濃クカハル故茶ワシトハ大ニ違ナリ茶碗ノ方ハ高麗物ト云テ彩吹手トハ思ハサレナリ焼チロシノ俣ノ物ヲ得テ水ニヒタス一半日ニシテ内外ムラノト茶色ノシユミ出ル此彩吹ト名付ルノ眼目也カハケハ元ノ如シ高麗ノ物何程水ニヒタス此事ナシ



一 井戸眼カ秋カトミユル白菜ノ小クワシニウニテ石マナリ白土ノ  
モノ無地安南ノ一種也

一 四鉢類ハ見込ニ輪ノ藥ハケ有茶碗ニハナシ土堅ク茶ヨキ故  
落付ス所々虫食出シユミヲ顯ス白土ノ分ハ堅焼ニアラサル  
故茶マクレス丸キ藥ハケアルハ足ヲ置ス重子焼ユエ茶ヲ掛残ス  
ナリ高臺内直ニ火ヲウケ又故藥カセタリ五徳アトナシ

一 白土白菜ニ藍ニテ人物象ニル昔扇面形ニ人物象ヲ牽画  
アル香合有世人出處ヲ詳ニセス象ハ南方ノ産ニ安南ノ貢物  
ナリ大昔画様ハ其土ノ夏ヲ重ニス安南後渡ノ香合ナリ

一 白藥黄土ニ紺青ニテ花リシ鳥ヲ画ク薄作ノ茶碗アリ  
クワシ入ナク画ヤウ美ナリ安南上品ノ茶碗也

一 紫土ニ萌黄茶ノ上ハ黄藥ノ流レタル取鉢形ノ茶碗ノ底ト

高臺ニ直ニ重子焼ニシテ引ハナシタル跡アルモノ吸口トテ  
天目ノ下手物ニテ安南ノ一種ナリ世人是ヲ古瀝ト云來レリ  
一 安南ノ約束ハ藥スコシ黄ハミ重子焼ニ五徳跡ナク画様  
ミユトニテシユミ虫喰出ル土見ハ火ノカハル所水茶ヲカケタ  
ル如ク光ヲ顯シ高臺内ハ白土ナリ下手モノト後渡リトハ  
クワシ入有ヘシ右等ノ品々ナハツニ奇テ見競フル所也

一 茶藥ニ処々シユミ出朱土ニ青キ小石ノ交リタル茶碗ノ置付  
ノ処所々ハケタル有世人是ヲ古秋ト云古秋ハ土赤黒ク白キ  
小石交リテ此品トハ違ヘリ是ハ安南ノ呉器ナリ後渡ノ物ハ  
高臺上ヨリ土ヲ見黄土ニ赤青石アラシエテ砂御本ト云安南呉  
器ノ後渡ナリ

一 コノ室ニ出來ル物茶葉茶黄土ニ白菜ト黒茶ニテ中ニ異様ノ画ヲ



書ルモノ世ニ赤織部ト云織部ニ非ス安南燬香也 俗ニスハリ 呉器ト云

一 朱土砂交リニ白茶ヲ薄クカケ白茶ト黒ガホニテ雲鶴ヲ画ク盆鉢アリ

一 唐津ノ内朱土ノ子ハキニ光リタル白茶ヲウスクカケタル茶碗行口

四猪ロアリ堀出シノマノ物ヲ濃キ茶ヲ用テ煮ル一一日忽シユ

ミヲ顯ス是彩吹出ノ雜物也同土茶ニテクワシ入アルハ舟山ナリ

一 白土ノキレイナルニ白キ水茶ノ上ヘタシハニ茶ヲカケタル四方ロノ

猪ロアリ安南ノ織部手トス是ニ奇タル鉢皿水次等アリ

一 白茶ニ藍ニテカシキノ画ニ松風水月ノ文字アル耳舟水指アリ

又同茶ニ藍ニテ横ニ筋ニツアル茶入アリ

一 白茶朱土ノ厚作ナルニ藍ニテ牡丹花虫等ヲ画ク壺水指有安南繪堅手ニ

一 安南ハ象ヲ生スル程ノ大國ナレハ陶器モ多カルヘシ出セル処ハ方々カハ也

亞媽港

一 アマカハ呂宋ト並ヒタル嶋ニテ廣東ニ属スル地也此地ノモノ只漆黒ハ

カリヲ知テ余物ヲシラス輪花形漆茶ノ皿ニ金銀泥ニテレイシヲ

焼付タル皿ヲ得香合ト引合スニ画ヤウ少シモカハラス是ヨリ

アマ呉器其外金銀色繪漆茶ノ品等土茶ヲ見クテテ監スル

処ノ呂左ニ記ス此地ハ古來ヨリ往返スル地ナリアマカハ王 日本ノ

高船ヲ留メ返ササリシニヨリ右國ノ船來ル時三百人ヲ打取船ヲ

焼レシ一武將感状紀ニクハシコノ節ノ焼残キレニ似タルヲ焼割衣

ト云注返セシ地ナレハ陶器ナキノ理ナシ土色ハ上ハ白土朱土下ハ

紫泥ナリ黄土ノモノモアリ

一 トヤノ内法茶紫泥ノ音カタキ物ト三嶋ノ内雲鶴茶紫泥ノ物

古三嶋ノ内白土ニ細キ上品ノ紋ノ物古雲鶴モコノ地ノ産ナリ

一 惣シテ出來カタク音キコトシテ出來フリ薄作器用ナリ



一見出ス品々

一滋色輪花皿 金銀多ニテ 一黄色平茶碗 法画

一同色トヤ 一塗香合 朱絵 一淡茶耳付水指

一白彩トキ 金繪 一吳器 アベト 一白茶香合 唐團扇 色絵

一尼吳器四足 一割香堂 一白土白茶碗 金絵

一雲鶴三ツシ 一古三ツシ 絶 一白茶輪花平鉢 牡丹 ウキ

一白茶小皿 松 絵 一井戸眼 一白茶千鳥形皿 山水 画

一御本淡黄茶堅キ物 一紺青絵火入 一柿色小猪口

一柳川堅手 一芋ノ子茶入 ウズ淡茶ニ黒キ兔ノ毛 茶吹出ス白土薄作

古今利ト称スル 一白茶縁柿色鉢皿 其外 品々 同 一極彩色同断

一古雲鶴平茶碗 一同無地 天月形

一六角形白茶向付 瓦ノ絵 一御本雲鶴茶碗香炉 紫土 方

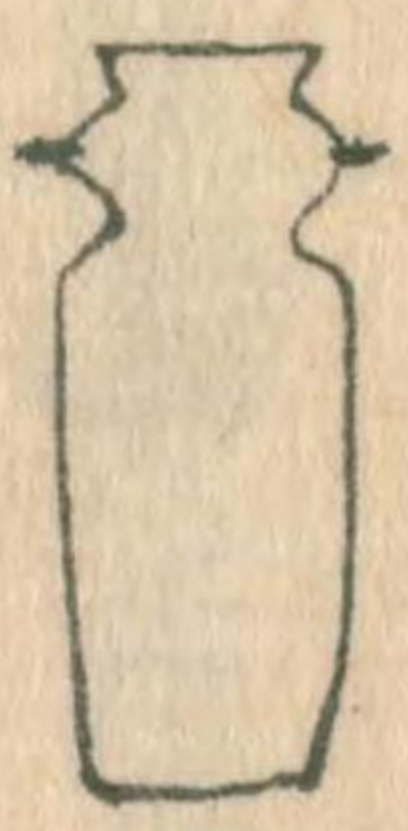
一雲鶴六角水指 一上代古雲鶴人形手形

一金気茶耳付胸ノ水指 一四方水次鷲ノ 一瓢形小水指 方 絵

唐土 吳州

一茶入類此地ノ産ナリ茶入ハ世ノ知ル所ナリ 土上製ハ白土黒

飴藥マシリ下製ハ紫泥飴藥ナリ茶入ニ基テ黒飴茶ニ黄茶

ノ兔ノ毛ノ如ク出タル  ノ如キ花入ヲ見出ス世人是ヲ肥後

又ハ高取ト云又穿數スルニ色々有左ニ記ス

一トヤト称スル物古人渡唐手ト書ストヤ手ノ内朱土ニ青白鼠

茶赤茶等ニテ音和ク上品ナル物此地ノ産トスカハラケ手青茶

ノ紫黒土音堅キ物ハ蛮製ナリ高麗ト云ハ非ナリ昔ハ數四ニテ雜

器ナレハイツレヨリ渡リシカ云傳フル一モナク唐物ハ茶入漆付

類天目青磁ノ外ハナキモノト心得タルハ全ク古筆物樂燒手造



リ物ノヤウニ鑑定ノ家ナク只云傳ヘノマナレハ云誤リキ、違ノ  
云傳ニナリテ委シクシラブルモノナキ故ナリ

一 天目ハ建安ノ天目山ノ製ニテ是ヲ建蓋ト云世ノ知所也蓋ニ茶入花生等アリ

一 呉器ノ内大徳寺遊撃紅葉等ノ朱土ナルハ此地ノ産トス尼呉器

ト称スルハアマカハ呉器番匠ハ蕃匠ユビスサシノ誤ニテ呂宋ノ製錐モ

同シ呉ヨリ出ルニヨツテ呉器ト称スル也古ヨリ夫々ノ名ナ付テ

有テ誤モナキ附会ノ説云テ高麗物ニシタル也判事呉器

御本呉器ハ朝鮮ニテ写サセシ也御本呉器ノ内ニモ呂宋アマ

カハノ製アリ白土ニテ高臺大ク出来フリ剛ニテ高臺内

外ニ節ノ有ハ蛮作ナリ其所々ノ約束アレハヨク見分ヘシ

唐呉中手本ニスルナリ遊撃呉器ハ一ツモノニテ朝鮮ノ遊

撃將軍 日本へ來ル時朝鮮王祕藏ノ品ヲ出シテ書ヲ認ル

トキ筆洗ニツカヘトテ賜リシヲ遊撃將軍病テ死ヘカリシヲ

救タル医師ニ礼ニ送りシヲ傳來スルナリ是ニ似タル物ヲ遊撃

手ト云朝鮮王祕藏セシ程ノナレハ自國ノモノニテナキコト

明白ナリ

呉服呉器ナト皆  
呉ヨリ來ル通称也

一 蒼蕎麥手ノ内黒鼠茶赤土ノ品古人渡唐キト書スルアリソハト

トヤト称スルモノ此地ノ出来物トスクワニニウナキ白キモノマシ


リタル茶ノ手ハ印度辺ノ出来トス

一 天目山出来ノ瓢形茶入三ツ耳舟玳タイヒサン蓋茶ノ小花生等アリ

一 青磁類此地ヨリ來ルナリ青磁ノ内ニ八角平鉢ノ真中ニ河濱

角水指ノ底ニ大吉ノ印ヲ押セル有

一 茶入色々 一 漆付物 呉ストモ 彩色 一 祥瑞物 一 呉器

一 ト、ヤ   形ニテ上ノ方内外白茶ヲヌリ上ヘ鼠色ノ



水藥中一面ニカケタル茶碗

一同筒子ヨク 一同大斤口 一同茶碗類 朱土ハ分

一天目 一青磁類 一白磁 一人形手 一同無地

一飴茶花生 一瑠璃物 一飴茶耳舟水指

一天目山瓢茶入 一玳瑁盃茶三ツ耳小花入

饒州物

一白茶碗 一同平鉢 一同鳥ノ子手 一白泥三紋鉢

一同浮紋鉢 一同輪花鉢

唐福州 同舟山 福只ノ属寫ナリ

一舟山ノ製古人井戸ト書ス舟山井戸ト云ヘシ今西國焼又ハ

秋ナリト云或ハ周山下云人城只ハ幡ニテ焼タル物ト混シテ云ハ非ナリ

一土白ク堅ク茶白クアワ立テツヤアリ俗ニ西國焼トテ山所チ

詳ニセサル井戸眼ニ似タル品舟山也

一瀬戸唐津ハ舟山ノ一種也黑白ノマタラ唐津白ト茶ノマタラ

唐津舟山出來ナリ

一秋ノ内ニ外ニエラニテ彫物有白鼠色茶ノ茶碗秋ニ非ス福州出來也

一又リ土手ト称スルモノヲ顕微鏡ニテ監スルニ刷毛目ノ如ク白藥チ

高臺上逆カケ内外高臺氏一面ニ水茶チカケタルカ素土ノ処ハ

カセテ鼠色ニ成タル也音モカクシ舟山物也後渡ハ土見黄土ナリ

一松木秋ノ内クワニシウ細カク色薄紫色ノ出タル白土ノ茶碗香炉

俵鉢等アリ音カクサ秋ニアラス舟山白磁ナリ


一福州青磁黄瀬戸トヨク似タリヨクノ土藥チ吟味スヘシ茶

ツヤツヨク音カクキモノ是後渡リ今ワタリモアリ

一黄伊羅保ニ似タル猪口盃其等福州製ナリ



一 土色白赤黄土ナリ茶ツヤ至テヨシ

一 福加黄磁  形ノ花生ノ外ノ紋ニ合フ萩ノ茶碗ヲ熟覽

スルニ土茶舟山井戸ト同手ナリ其余福加舟山ニ相似タルヲ以テ合シテ是ヲ出ススヘテ茶ニ重カ、リナリ萩ハ一重茶ナリ故ニ石ハセノ所中ノ土ヲ顯ス福州舟山ハ二重茶ユヘ石ハセアリテモ下ノ茶ハ切レテ上茶ニテ包ム故土ヲ顯サツ惣体小石マシリノ土也

朝鮮

一 朝鮮ハ茶入至テ下作ノ土地ニテ陶器格別上作ノモノアルヲ兼テ不審セリ今穿鑿スルニ是近世上ニ高麗ト称スルモノハ分通ハ外國ノ製ニナレリ残ル呂ハ

- 一 熊川 エモ 一 金海堅手 一 井戸手 一 井戸眼
- 一 白高麗 一 判事三嶋 一 黄伊羅保 一 御本伊羅保

一 朝鮮伊羅保 古イラホハケナキ方ナリ 一 判事

一 御本呉器 一 奥高ライ 一 御本物品々 一 御本青磁

一 御本雲鶴 赤土 一 堅手 一 朝鮮陶 カラツ 一 滋萌黄白茶ノ雜器類水指トモ


此外格別ノ物ナシ土ハ赤土白土也今對及ヨリ來ルモノニテ考ヘシ今渡ノ内ニ呂宋ノモノ入交リテ來ルナリ

一 人形手字 朱土ニ黄色ノドミタル茶ヲカケ音和ウカシ作フリ人形手ト同シ

一 同後渡 赤土ニウス萌黄色ノ茶右ニ同シ

此二品世人贋作モノトス土ヲ割ニ朝鮮土也朝鮮人形手ト云ヘシ新古アリ

丹波

一 遠州ノ茶具ヲ焼シムル所イワレモ茶碗ナキナシ  ノコトク内外白菜ナタレ地茶萌黄ヲカクル茶碗ト黒ト法マシリノ茶ニ爵金ト浅黄ノ茶ヲ処々カケタル白土ノ茶碗トテ茶入ニ引合



スニ寸分違ハス穿數並スルニ色々ノ物ヲ見出セリ其品々左ニ  
記ス土色鼠黄白赤紫等アリ

一本山龜妙山 三子ノ印アルモノハ近來ノモノ也

一丹波ノ内底ニ青キ水菜ヲ吹出シタルハ呂宋ヲミ違タルナリ  
水菜ヲカケタルハ丹波ナリ

一持前ノ焼物ハ世ノ知處混シタルハ

瀬戸 唐津 備前 高取 松本 萩 信樂

織部 三嶋 片手 トヤ 呂宋 南蛮

安南 朝鮮モノ朝日

右ノ字色々有能々見分サレハ知カタシ字物ヨク出来タリ

一茶入ノ上作ナルハ大カタ呂宋ナリ織部好ノ茶入モアリ

### 唐津

一唐津焼高麗尤衛門ニ好ル奥高麗ト称スルモノハ朝鮮忠清道

ノ西北ニ唐津監アリ唐ノ船舟ニテコノ地ノ焼物也土薬ヲ見ル

ニ朝鮮ナリ古唐津ハ似テ違ヘリ

一朝鮮唐津ニニ手アリ土薬トモニ朝鮮ノ物アリ朝鮮陶ナリ

唐津土朝鮮茶アリ朝鮮菜唐津ヤキナリ和訓同ニキ故

ニ物ナ一ツニシタル也堀出シ唐津ノ内ヨリ色々ノ蛮物ヲ見

出セリト、ヤモアリ

一日本昔ハ才モニ外国ノ焼物ヲ用ユニナ當坐日用ニツカウ工

ニ残ル物デレナリ唐津ハ元唐ヨリノ船舟ナレハ持來レル呂

ノ内ワレユカミタル物ヲハ子出シテ埋<sup>タ</sup>多<sup>ル</sup>也堀出シ唐津ノ内朝

鮮南蛮呂宋井戸ノ下手物ニユ此品々モ上手モノハシレトモ下手

モノヲ見知ラ又故也其暇ノハネモ有ユヘ幸ニ古物ノ残レルナリ



肥前ノ士長崎詰ノ茶漬茶碗トテ珠光青磁ヲ數持タルヲ近頃買  
來レリ是ニテ古來外國ノ品ヲ用タルト明白也故ニ珠光青磁三嶋  
ノカケタラズモ堀出スナリ

一 唐津青磁唐津雲鶴ト見ユルヲ割テミレハ南蛮土ナリ

一 唐津三嶋ハ音和ク高臺土見ナリ

一 沓鉢茶音黒ク土黒紫ハ南蛮ナリ茶音白ク土黄赤マシリハ

島物ナリ唐津作ハ土赤ク白キ小スナ有平戸焼ハ白土ナリ

一 試ニ唐津物ヲ集テコレヲ見ルニ一分ハ朝鮮一分ハ唐津二分ハ

唐方六分呂宋ナリ年久シク埋レタレハ茶変スレト焼直シテ

見ルニ本証ニナレリ福及白菜ノモノモ又レリ

一 堀出シ唐津ヲ焼直シテ本ノ証ニ成タル品

呂宋 片口 緒小皿 猪口 茶碗 色々 安南黒絵小皿

此外見分タル品々ハ其国々ハ出ス

遠州好七窑

一 志戸呂

遠江印有ハ

一 膳所

近江

後室印梅鉢

一 上野

豊前

一 高取

筑前

今 渡唐五左衛門

上野焼弟子

初代六藏  
八藏

一 朝日 初代 遠州臣

窑所不定 朝日集  
今豊前 同新十郎

一 古曾部

攝津

初和様印  
後八分印

一 赤膚

和州郡山

赤ハタ山王

遠州印

赤膚山

赤ハタ

文字太シ

御城付ノ品遠及箱ニ入九ツアリ郡代三斬ニ茶屋宗古箱入  
茶ワシ一ツ、所持ス窑中絶

一 寛政中再兵 五条山土 瀬戸陶五伴之助次兵衛



印

赤唐山

赤夕

文字細シ

見出ス品遠州印也

一 白藥茶碗二 一 瀬戸藥水指 一 高取藥筒 一 同夜学

一 香合一 一 水滴二無印茶入二 一 彫印茶碗一

一 朝日ノ說紛々或宇治或ハ西国トス其土チミルニ淺黄茶白鼠

土ノ物ハ呂宋白土ヲ用ユ黒鼠イハ鼠土ニ小破ノ交リタル真壺

土ヲ用ヒ音キンキンタリ赤土ノモノハ音和ク宇治燒ナリ字モ

ノトス黒鼠色赤土ノモノハ丹波出來ニテ贗物也後朝日ハ豊

前ニ子孫アリテ今以テ之中作ル朝日ノ名ニ依テ朝日山燒ト云

ハ誤ナリ窑ハ何レトモ定カタシ遠州好無印朝日一百ハ呂宋燒ト云

雲州燒

一 樂山 御立山ト云 初代倉寄權兵衛 弟子加田半六

一 延宝五年長州秋ヨリ御抱入元録七年死窑中絶 百死 十七年之間

一 享和元年再兵當時二窑 初代 長岡住右衛門

一 布志名 印小判形二善 初代 土屋善四郎

宝曆六年初登當殿八窑有之

見出ス分

權兵衛作

一 白藥平茶碗 雲州箱 一 御本三嶋字 一 黄イラホ字

一 古イラホ字 明々斎箱 一 南蛮イラホ字 一 南蛮字茶入



刻成ノ后見出スノ分

印度


一 印度ノ陶器茶碗德利塩筭ノ類アツテ余物ヲミス然ルニ紫土ニテ至テ光強ク音カタキ筒水指ノ上ノ方ニホソキ筋アリ胴ニ工押カタ有ヲ得タリ<sup>ハ</sup>字ノ真書トミル故右土ニ合モノヲセシサクスルニ絵カウツ壺水指ニ合此水指肩ニ鉄フシテ唐艸ヲ見更ニ書リ此画又茶碗トモウル香合毛ホリノ画トニ寸分違ハス又鼠茶ニ白ナタレノ肩ニ唐艸ノホリ画アル茶入アリイツレ氏決シカタク有シニ又作振水サシト合夫ヨリ名物手ソハカス手朝鮮モノ唐津モノノ内ニ約束ノ合モノヲアツメ土茶見クラフル所ヲ左ニ記ス

一 サラメキ井戸

万宝全書ニ曰伊羅保ハサラメキ井戸ヲ写セシモノナリトアリ

此品ヲヨクく目巧者ニ問トモ知人ナシ予藏スル内白土小砂交リニ赤ミチ帯タル土ニ白茶チカケ内ニ白茶ニテハ今有井戸形ニ高臺竹ノ節ニテトキン高ク◎ニ成口作り切マハシニテ茶ツヤヨクイラホソハ秋唐津丹波ノ類ニモアラス何トモ名付ル人ナク此品ニ似ルモノモニス此頃監スルニサラメキノ手井戸ナリ唐津ノ内ニサラサラ手ト称スル茶入又萩茶ノヤウニミユル茶ワシ行口猪口類アリ是サラメキノ印度モノナルヘシ又千州伊羅保ト称スルモノ高臺内トキン高ク土モ井戸土ニミユ

一 土色紫。朱。赤。鼠。茶。ハ。青。白。浅黄。黒。鼠。黄。茶。等ナリ

- 一 壺形茶入 地茶鼠白茶ナタレ肩ニ唐草ノ彫画朱土
- 一 青井戸水滴 作振大ムネ呂宋ト同シ糸切左紫土
- 一 淡金気茶肩衝  胴ニ首ノコトク篋目アリ





右三品トモ作フリニ習アリ筆紙ニ述カタシ

一ソハカス手桶カワ一重口水指上下ニ輪二筋アリ上ノワヨリ上ハ白  
薬内外一面ニ浅黄薬底ハ土見アケ底紫土金気マシリ

一三嶋井 一同皿 薄作ニテ紫土浅黄茶  
モヤウ奇レイナレモノ 一七宝類 一八葉菊香合

一青井戸耳付土鍋小判形 一同小斤口二 一同香鉢 一唐人笛形筒茶碗

一青薬呉器 一色画沉香壺 一淡画茶碗 一黒絵茶碗

一青薬茶碗 一青薬水指二 淡フシ画唐  
口ス、キ 一同小猪口

右イツレモ土見ナリ茶コキモノハクワニウ有リウスキハクワニウ  
ナクカイラキアリ


唐 吳州

一トヤ小斤口 一同三足火入 白茶 一同丸茶碗 内茶ナシ  
エノ具スリナリ

一十玉口耳付水指 一黒金気薬瓢尊小花生

亞 媽 港

一白薬耳付 岩浪 水指 一黄薬平茶碗十山畝 一白薬黒画蓋茶碗十

一赤絵平鉢 一白薬平鉢 一色絵フタオキ  形淡茶水指耳松力サ

舟 山

一白薬茶碗 外一面松  
垣ナリ 一白薬平茶碗 一白磁茶碗

一唐津ヨリ出ルモノ品々

跋 趾

一ルイ座館薬茶入 朱土 一館黄薬茶碗 一館薬小猪口タシ入

饒 州

一鳥ノ子手茶碗 一堅手同 倍ニカウハ堅手  
トイフ品ナリ

安 南

一才リハ薬鳥香合 一彩吹大德利 一黄茶茶碗 一後渡六角火入 印有



- 一 唐津ヨリ出ル彩吹下手モノ呂々
- 一 無地安南茶碗小鉢平鉢
- 一 同茶入胴ニ藍ノ一 藍繪筒茶碗今渡一 立鶴小皿猪口茶碗水指類
- 一 彩吹鞠釣花生 一 青磁井中ニ九キ一 藥器茶入地茶淡
- 一 淡藥水指世ニ丹波一 淡画六角火入 一 白藥馬上盃
- 一 黄瀬戸四方入角向付ヲ焼直スニ白土黄茶ノ安南モノニ成レリ

呂 宋

- 一 コウロク淡画白茶小鉢 一 同藍繪香合
  - 一 フユカニ筒茶碗 一 フユカニ茶碗水指
  - 一 同香合平丸ニ一 同ウスクマ 一 古無地雲鶴七角高臺
  - 一 小猪口茶碗類呂々一 織ア木凡鉢 一 底面水指
  - 一 三ッ耳水指窑印 一 是ハ三四ノ唐フ子ヨウナリ皆カマ印有ヲ以テ
- 備前ト思ヘリ窑印ナキノ理ナシ只土味ヲ吟味スヘシ

- 一 堀出シ唐津ノ内イラホ形子ノ生ヤケナルヲ八代ナリト目利
  - セシニ焼シムルニ磁石土ニ淡ト黄交リ藥ノ呂宋茶ホワニナレリ
  - 一 黄瀬戸堀ノ手ヲ焼シムルニ交リ土ノ萌黄藥ニ変ニ呂宋物ニナレリ
- 此手ハ万宝全書ニハ高藤ト山タリ
- 寅九月持登リ堀出シ唐津四十三ノ内
- 一 印度耳舟土鍋唐人笛筒茶碗小猪口塩カラ入茶碗等十三
  - 一 呂宋茶碗猪口沓鉢無地雲鶴ホハ
  - 一 唐津モノ茶碗片口塩辛入ホ九
  - 一 唐津ノ人ニ右來由ヲ問ニ画唐津ノ内鉄フニ画青菜ノ茶碗ハ少ク
  - 國元ニテ殊ニ大切ニスル由尤渡リ物也ト申傳フル由云リ只
  - 所々ニテ堀出セシヲ買集ムレハ古來ノ夏ハ申傳モナク分リカヌル也
  - 一 堀出シ唐津ノ内高臺内カ茶夕テリニ大ナルトキンアルカ又ハ高



842  
43

タイノソト横手ニヘラ目一ツアルモノ斤口ノ口ヲ指ニテオシ  
タル付ヤウノモノ印度ノ約束ナリ

右一綴者予見及フ所ノ品ヲ出シテ世上ノ好事者陶器ヲ  
識監スル便ニモト<sup>イロ</sup>森羅万象ノ器物ナレハ一例ヲ挙テ余ヲ  
自得セシメント欲スルノミ猶本邦ノ器物及ヒ外国ノ  
残レルハ後考ニ備フ

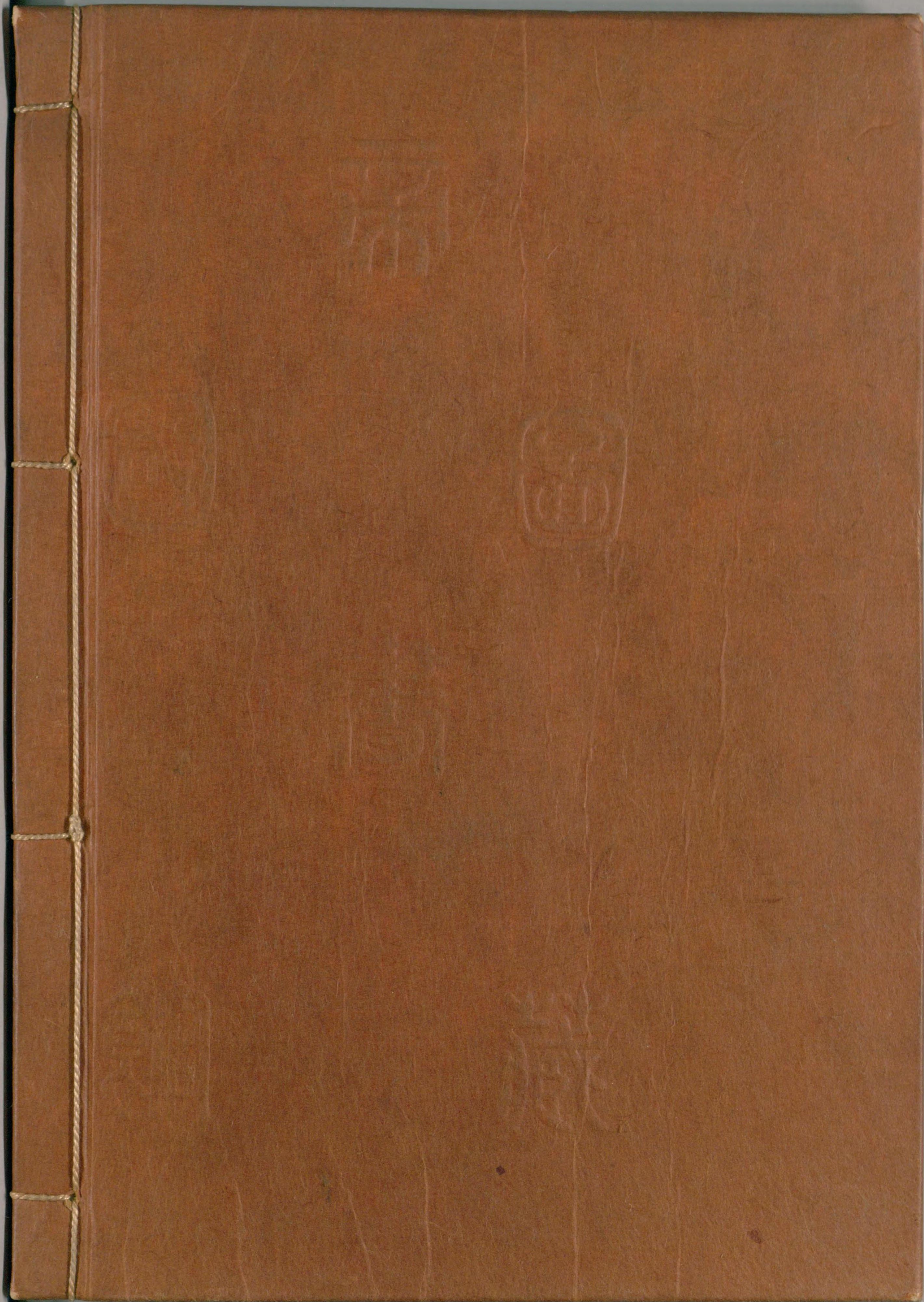
陶器考 終



842  
43

紙





国立国会図書館 タイトル『陶器考』 請求記号 842-43

ガラス使用